

令和5年度第2回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和5年11月19日（日） 午後6時30分～午後8時00分	
開催場所	加茂文化センター 第1・第2研修室	
担当議員	班代表者	山本 和延
	司会者	森本 隆
	報告者	谷川 光男
	記録者	山本 和延、草水 基成
	班員 (上記以外)	柴田 はすみ、高岡 伸行
参加人数	9人	
主な質疑 ・意見等	<p>Q議：副市長2人にはすることは反対である。任期4年で1人6,880万円の副市長という名の管理職を増やす前に、市職員を増やし仕事の分散を図る方が住民サービスに役立つのではないか。</p> <p>賛成者（議員）の中からは、なぜ今の体制のままではできないのかという理由が説明されていない。市長と議会がけん制しあうスタンスを目指すべきでは。</p> <p>A：議会で可決された。内容については各議員の思いはあるが、個人的な見解を述べることはできない。ご意見として承っておく。</p> <p>Q行：副市長2人制について個々の議員の意見を聞きたい。市の効率化を図ると（の理由だが）、今まで1人でやっていた事をなぜ2人でやるのか。他のところは1人でやれている。また、本来は市長から言うべきで、議会から2人以内に改正されたのは、市長に失礼な対応だったのではないか。なぜできないのか。不思議だ。</p> <p>A：ご意見として伺っておく。木津川市総合計画を立てる中、人口が減つてきている危機感や新年度予算で新しい市長としての特徴を出した予算を組んでいきたいとの思いの中で、担当を分担して取り組んでいきたいと議会では市長から議案提案の説明を受けています。市議会議員も含めて次の選挙で審判を受けることになると考えている。</p> <p>Q行：放課後児童クラブ支援員の資格要件を緩和することはどうかと思う。支援員の正職化や待遇改善、働く者を守るという立場をはっきり市として打ち出すべき。</p> <p>A：国の制度改革によるものを本市の方で認めるかどうかの判断で、成り手が不足している状況下なので認めたものである。</p> <p>Q行：市職員の中で非正規職員の生活を守って、しっかり仕事をしてもらう。増員を行う。それが、働く者の願いであると思わないのか。</p>	

A : 役所としては計画的に行っている。

Q行 : J R 奈良線複線化事業負担金の 3 億 6,140 万円は 1 年間の事業費か、平成 25 年度から令和 6 年度までどれくらい負担するのか。

A : 平成 25 年から令和 6 年度までが 2 期で、事業は 3 期まである。今まで 1 期 2 期トータル約 22 億円を木津川市の負担金として支出。今後 3 期は木津駅までを計画している。

Q議 : 総務文教常任委員会で議員の不適切発言があったことについて、議会全体としてどうとらえているのか。今後、請願や陳情をどのように扱って審議していくのか。

A : 議会として、委員会が終わった後すぐに議長も含めて話し合いを行い、次の委員会で発言の取り消しが決定された。議会としても今後このようなことがないよう取り組んで行く。市民の方の利便性を考え先に請願審査するなど取り組んできた。

Q議 : 議長やその議員に対して、申し入れが即日された。申し入れについては会派として検討されたのか。なぜあのような発言をしたのか議論をしたのか。

A : 議論したが、内容については会派内のこと。対応について代表、議長、副議長に委任することにした。

Qだ : 9 月議会の大きな焦点は副市長 2 人にするかどうかだった。元議員から陳情書が提出された。議会運営委員会で議論され、陳述もされた。この議会だより 66 号には載っていない。不思議に思う。書かれていたらもっといろんな声が市民の中からあったと思う。

A : 議会だよりには載っていない。議会だよりに載せるのは、意見書・請願書で、陳情書は机上配付のみが基本。陳情書に基づいて、意見陳述の申し入れがあった。臨時に議会運営委員会を開いて、意見陳述を行ってもらった。賛否あるいは、採決をとるものではないので、市議会だよりには載せないというルールに基づく。

Q行 : 補正予算第 5 号の中で、歴史文化&フードツーリズム造成事業に 2,100 万円も計上されている。観光庁の補助事業であるので、過疎債を使われていないと思うが、財源も含めて具体的にどんな事業なのか。

A : 事業費 2,100 万円のうち 1,250 万円、約 60% の国庫補助金と市の一般財源で 850 万円を支出する事業。観光庁のコンテンツ支援事業である。内容は、国宝鑑賞や美食体験。

Q行 : 加茂小学校の登下校の見守り隊を約 15 年行っている。11 月 9 日木曜日の午後 3 時 30 分ぐらいに加茂小学校の 1 年生の男の子がトラックにはねられ亡くなるという残念なことがあった。要望として①下校時間に人が必要②子どもたちに自分自身を守る意識づけを、学校教育の中で 1 か月集中的に行ってほしい③教育委員会、市、木津警察、地元・新町で何ができるか考えてほしい。

	<p>A : 城山台小学校の見守りは、児童数が多く国道の幅が広いため、スクールガード制度でシルバー人材に委託している。市内全体でもできないか取り上げていきたい。</p> <p>Q行 : アメリカではカードを落としてしまうと暗証番号を解読され悪用されると聞く。マイナンバーカードの情報管理をしっかりするというが信用できない。マイナ保険証を持たないものはどうなるのか。</p> <p>A : マイナンバーカードを持っていないから排除されるわけではない。健康保険証は令和6年秋に廃止予定だが、資格確認証へ移行予定。</p> <p>行・全学校で子どもたちに自分自身を守る意識づけ教育を行ってほしい。</p> <p>報・賛成討論も一般質問もしない、反対討論があるにもかかわらず賛成討論がない。議会の在り方を改めてほしい。</p>
質問・要望等 で行政側へ報告すべき内容	
その他の 特記事項	

上記のとおり、報告します。

令和5年12月8日

木津川市議会議長 長岡 一夫 様

令和5年度第2回議会報告会
第3班 代表者 山本 和延